

インフォシス、IDC MarketScape: Worldwide SAP Implementation Services

2022 のベンダー評価でリーダーに選出

バンガロール (インド) – 2022 年 8 月 30 日: 次世代デジタル・サービスおよびコンサルティングの世界的リーダーである [インフォシス](#) (NYSE: INFY) は、本日、IDC MarketScape: Worldwide SAP Implementation Services 2022 ベンダー評価 (文書番号 US48395822、2022 年 6 月) でリーダーに選出されました。インフォシスは、エンタープライズ・リソース計画、財務管理、CRM、HCM、SCM およびアナリティクスをはじめとするエンド・ツー・エンドの SAP コンサルティングおよび導入サービスを、SAP 製品ランドスケープの全域において提供する能力によって、高く評価されています。

IDC MarketScape では、新しい SAP テクノロジーに対するインフォシスの継続的な投資が注目されています。これには、SAP Business Technology Platform、S/4HANA、Spend Management、CRM および CX、SuccessFactors、IBP および SAP Industry Cloud などが含まれています。インフォシスは、組織の変革管理、SAP 対応の業務変革、ビジネス価値実現/価値がバランズ、およびプログラム管理に向けた統合 SAP サービスを提供する能力で広く知られていました。

このレポートは、インフォシスの戦略的プログラムであり、Infosys Cobalt の一環として提供される Innov8 が、SAP デジタルソリューションを活用したクラウド導入とデジタル変革ジャーニーを高速化する様子にスポットライトを当てています。このレポートには、インフォシスと SAP アライアンス・エコシステム・パートナーのイノベーション/R&D 戦略および GTM 戦略を、IDC が高く評価していることが記されています。

IDC の グローバルサービス、マーケットおよびトレンド担当リサーチ副社長である Gard Little 氏は次のように述べています。「IDCのグローバルSAP導入サービス・バイヤープロテクション調査により、SAP導入サービスで成功するための最も重要なベンダーの属性は、'望まれるビジネス成果を達成する'能力であることが明らかになっています。今回の評価でリーダーに選出されたインフォシスは、Infosys Cobaltの業界固有のソリューション、SAP、そしてすべてのハイパースケラ



ーとのパートナーシップを活用して、顧客のクラウド導入とデジタル変革の高速化に役立てることで、顧客のカスタマージャーニーを支援する体制を整えています。」

インフォシスのエグゼクティブ・バイス・プレジデント兼デリバリー共同責任者の Dinesh Rao は次のように述べています。「今回の IDC MarketScape による高い評価は、SAP ソリューションによる企業のデジタル変革ジャーニーの高速化において、当社の力が卓越していることの証です。[Infosys Cobalt](#) の一部として提供される Infosys Live Enterprise for RISE with SAP および Innov8 のような差別化されたサービスは、価値実現の複雑度を低減し、その高速化に寄与するものです。当社は SAP の業界クラウドソリューションに重点的に投資することで、深い領域専門知識とコンサルティング主導型アプローチを補完し、企業変革の優先パートナーとしての地位を維持しています。」

レポートの無料の抜粋は、[こちら](#)をクリックしてご覧いただけます。

IDC MarketScape ベンダー評価モデルは、対象市場における ICT（情報通信技術）サプライヤーの適合性を比較評価することを目的として作成されています。調査には定性的、定量的の両方の基準を採用した厳格なスコア化手法を使用し、その結果は、対象市場での各ベンダーの位置づけが単一のグラフに図示され、発表されます。IDC MarketScape は、IT・通信ベンダー各社の提供製品とサービス、能力と戦略、現在と将来の市場成功要因について意味のある比較を行える、明確なフレームワークを提供しています。また、テクノロジーの購入者は、現在活用しているベンダーや今後活用を検討しているベンダーについての 360 度の評価を入手することが可能になります。

インフォシスについて

インフォシスは次世代デジタル・サービスとコンサルティングのグローバル・リーダーとして、30 万人以上の従業員とともに、人間の可能性を高め、人・ビジネス・コミュニティの次の機会を創造するために活動しています。40 年以上にわたるグローバル企業のシステム・業務管理の実績に基づき、専門家として、50 か国以上のお客様のクラウド活用によるデジタル変革への道のを推進します。当社は AI 駆動型コアを利用してお客様の変革を実現し、大規模なデジタル・アジャイルでビジネスに力を与え、常に学ぶ姿勢で、デジタル・スキルの移転を通じてお客様の継続的改善を推進しています。インクルーシブな職場で多様な人材が活躍する、効果的に統率された、環境面で持続可能な組織であることに全力を注いでいます。



インフォシス (NSE、BSE、NYSE: INFY) が次のステージへと進む企業を支援する方法については、www.infosys.com をご覧ください。

セーフハーバー条項

本リリースに掲載されている報告書の一部は、1995 年私募証券訴訟改革法の「セーフハーバー」条項の適用を意図した当社の将来的な成長と今後の配当、財務的期待、当社の従業員、顧客およびステークホルダーへの COVID-19 の影響を管理するための計画を予測するものであり、そこには多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクおよび不確定要素としては、COVID-19 に関連するリスクと不安定要素、その拡散を抑制するための政府およびその他の対策の効果、インド、米国、世界のその他の国々の景気低迷や不況に関連するリスク、政治、ビジネスおよび経済環境の変化、収益や外国為替相場の変動、当社の成長管理能力、費用効率に影響する可能性のある IT サービス分野における競争の激化、インドにおける人件費の高騰、高い技能をもつ専門的な人材を確保する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野であるテクノロジーの需要低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切り、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢などが考えられます。将来の営業業績に影響すると考えられるその他リスクについては、2021 年会計年度年次報告書 (Form 20-F) を含め、米国証券取引委員会へ提出された当社報告書に詳細に記載されています。これらの報告書は、www.sec.gov でご覧いただけます。当社は、米国証券取引委員会および株主への報告書内の情報を含め、書面または口頭で将来の展望を随時発表する場合がありますが、法律により義務付けられている場合を除き、随時発表する将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

お問い合わせ先: PR_Global@Infosys.com